

## 赤潮プランクトン情報（第2報）

福岡県水産海洋技術センター  
平成29年6月27日

粕屋以東の筑前海域で6月27日に調査した結果、一部の漁港内でシャトネラの発生を確認しました。

細胞数は1 mLあたり最大6細胞となっています。各漁港の調査結果は以下のとおりです。シャトネラは非常に毒性が強く、1 mLあたり数10細胞でも魚介類に被害を及ぼします。今後晴天が続いた場合、水温の上昇や日照の増大により急激に増殖するおそれがあります。

海水が着色しなくても、魚介類に被害を及ぼす場合があります。  
漁港での魚介類の蓄養には注意してください。

魚介類の大量斃死がみられたり、漁場の海水が着色していた場合などは当センターへ至急連絡願います。

調査結果表

調査地点	<i>Chattonella</i> sp.(cell/ml)	調査地点	<i>Chattonella</i> sp.(cell/ml)
旧門司	0	岩屋	0
大里	—	芦屋	0
平松	—	波津	6
若松	—	鐘崎	—
長浜	0	津屋崎	0
脇之浦	—	新宮	0
脇田	—		

※表中の「0」は1 cell/ml未満の密度。「—」は、検出せず。

連絡先 福岡県水産海洋技術センター  
研究部 資源環境課 森本・中山・秋本  
092-806-0884